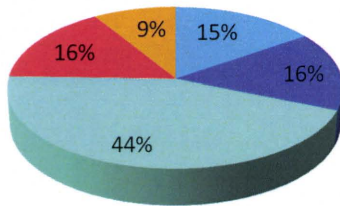


17. DMATが携行する食料の提供は可能ですか

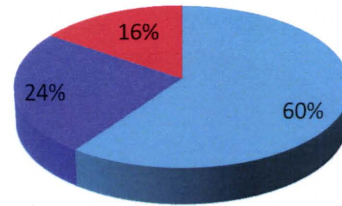
- 可能 7
- 上部機関の許可があれば可能 7
- 費用支弁が確保されていれば可能 20
- 不可能 7
- その他 4



条件付を含めた可能割合 75%

18. 活動中または活動後のDMATの休息場所を提供することは可能ですか

- 可能 27
- 上部機関の許可があれば可能 11
- 不可能 7



条件付を含めた可能割合 84%

考察 ①

- 病院の機能に被害が無い場合、災害拠点病院はDMATロジスティクス拠点としての協力が得られる可能性が高いことが示された。
 - 多くの災害拠点病院が医薬品等の院内在庫及び備蓄の提供が可能と回答
 - 病院契約業者からの調達ができる可能性が高い
 - 医療機器の提供、調達及び輸送に関しては困難が想定される。
- DMAT活動において不足する物資に対し、災害拠点病院の病院在庫の提供による調達・補充が災害超急性期においては一番迅速な手段と考えられる。

考察 ②

- 病院職員のロジスティクス拠点要員としての協力にあっては、調達担当の事務職員を含め、薬剤師、看護師、ME等の協力が得られることは、物資の補充・管理に有用となる。
- 休息場所及び食事の提供を受けられる可能性もあることから、活動場所から交替等により一時退去した時の生活支援が得られる。

考察 ③

- 協力のための条件
 - ① 上部機関等の了解が必要
 - ② 費用負担が条件
- 平時より上部機関である、県、市、国立病院機構、日本赤十字社等への具体的事項についての申し合わせが必要である。
- 災害救助法の適用を前提とした、行政への費用弁済に対する迅速な確認が求められる。

まとめ

- 多くの災害拠点病院等では、ロジスティクス拠点となり得る機能を有していることがわかった。
- 災害拠点病院の機能として、ロジスティクス拠点としての役割の追加が求められる。
- ロジスティクス拠点からのDMAT隊員及び緊急物資の輸送等、災害拠点病院では補えない部分に対し、自衛隊、消防機関、警察、行政等の関係機関の協力が必須となる。
- 平時から関係機関によるDMAT支援計画または申し合わせが求められる。

ご静聴ありがとうございました。

DMATと日本赤十字社の協働を ロジスティックから考える

The Cooperation of labor of DMAT and Japanese Red Cross Society from LOGISTICS



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

武蔵野赤十字病院 高桑 大介 勝見 敦
長野赤十字病院 北川原 亨
D.Takakuwa A.katsumi S.kitagawara JRC-DMAT Project

日本赤十字社法 抜粋

(S27.8/14 法律第305号)

(業 務)

第27条 日本赤十字社は、第1条の目的を達成するために、左に掲げる業務を行う。

- (1) 赤十字に関する諸条約に基づく業務に従事すること。
- (2) **非常災害時又は伝染病流行時において、傷病その他災やくを受けた者の救護を行うこと。**
- (3) 常時、**健康の増進、疾病の予防、苦痛の軽減**その他社会奉仕のために必要な事業を行うこと。
- (4) 前各号に掲げる業務のほか、第1条の目的を達成するために必要な業務。

2 前項第1号及び第2号に掲げる業務には、第33条第1項の規程により**国の委託を受けて行うものを含むものとする。**

Musashino Red Cross Hospital

内部規則

○ 日本赤十字社救護規則

第2条 日本赤十字社の災害救護業務は、次のとおりとする。

- (1) 医療救護
- (2) 救援物資の備蓄及び配分
- (3) 災害時の血液製剤の供給
- (4) 義援金の受付及び配分
- (5) その他災害救護に必要な業務

○ 日本赤十字社医療施設規則

第3条 日赤の医療施設は、赤十字の使命を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 災害時における医療救護
- (2) 巡回診療その他の医療援護
- (3) 保健指導
- (4) 一般医療
- (5) その他必要な医療活動

- 2 社長が指定する医療施設においては、前項に掲げる事業のほか、看護師、助産師又は保健師の養成を行うものとする。

Musashino Red Cross Hospital

DMATと日本赤十字社の体制に関する経緯

平成 8年	災害拠点病院の整備 59/92
平成13年	厚生科学特別研究で「日本における災害派遣医療チーム(DMAT)の標準化に関する研究」実施
平成16年8月31日 (新聞記事)	平成16年3月の中央防災会議の南関東地震想定を踏まえ、災害派遣医療チームDMATの体制確保を新規事業予算として検討した。 厚生労働省は米国DMATを手本にして、平成17年度にDMAT編成方針を固めた。
平成16年12月23日 (新聞記事)	国は災害派遣チームDMAT体制を緊急配備する方針を決定した。

Musashino Red Cross Hospital



日本赤十字社の立場として

- 平成17年1月 4日 国（厚生労働省）は平成16年度の補正予算でDMAT体制整備を日赤に照会した。
- 平成17年2月17日 DMATへの**不参加を表明**し、独自に救護活動を実施することとした。
- 平成17年7月15日 日赤の救護班は日本DMAT隊員養成研修に**積極的に参加**することとした。



Musashino Red Cross Hospital

- 平成18年4月 7日 医政局指導課長通知「**日本DMAT活動要領**」に「日赤救護班はDMATと**協働**する」「救護班要員に対して厚生労働省が示す基準と**同等の研修**を行う」
- 平成20年8月15日 日赤DMAT養成研修プログラム作成検討会を開催。
- 平成21年1月23日 「日本DMATとの協働について」の取扱いに関し、事業局長通知が出た。派遣指示を弾力化するなどこれまでの課題が整理された。
- 平成21年3月11日 第1回「**日赤DMAT研修会**」を開催した。

Musashino Red Cross Hospital

日赤DMAT研修会の目的

日本赤十字社では、大規模災害に備え、

- 1 超急性期の救護活動を実施する救護班要員の育成が急務であり、
- 2 また、協働活動のためには「日本DMAT活動体制の理解が不可欠である。」との認識のもと、

本研修は、日本DMATへの登録を目指すものでなく、超急性期医療活動を含めた日赤救護班全体のレベルアップを図ることを目的として実施する。



日赤DMAT研修会開催実績

① 平成21年3月11日～13日	日本赤十字看護大学	53名
② 平成21年6月27日～29日	看護大武蔵野キャンパス	39名
③ 平成21年8月5日～7日	看護大武蔵野キャンパス	97名
④ 平成21年11月22日～24日	看護大武蔵野キャンパス	38名
⑤ 平成22年4月24日～26日	日赤本社	79名
⑥ 平成22年7月31日～8月2日	看護大武蔵野キャンパス	56名
⑦ 平成22年10月30日～11月1日	看護大武蔵野キャンパス	57名
⑧ 平成23年1月15日～17日	日赤本社	50名

計 469名

Musashino Red Cross Hospital



日本DMAT活動要領 (改定抜粋) 平成22年3月

- ・ 同等の研修の実施→**削除**
- ・ 日本赤十字社は、日赤救護班とDMATとの**協働**に係る**計画**を事前に**策定**する。
- ・ 都道府県は、管内の**日本赤十字社支部**と日本赤十字社のDMATの運用に関する必要な事項について**協定**を締結する。
- ・ なお、本要領はDMAT等の運用の基本的な事項について定めるものであり、都道府県等の自発的な活動や相互の応援、及び**日本赤十字社の自主的な活動**を制限するものではない。
- ・ 日本赤十字社、国立病院機構等は、厚生労働省、都道府県等の要請に応じ、DMAT活動に関わる**通信**、移動手段、医薬品、生活手段等の確保を可能な範囲で行う。



Musashino Red Cross Hospital

日本赤十字社の災害救護リソース

- ・ 職員 57,876名
- ・ 病院 92病院 (52災拠)
- ・ 常備救護班 489班 5,194名
- ・ 救援車両 590台
- ・ 医療セット 265セット
- ・ エアテント 156張
- ・ テント 6,709張
- ・ 発電機 1,531台
- ・ 衛星電話 127台
- ・ 無線局 3,529局 (基地局・移動局=全国)
- ・ 日本DMAT隊員養成研修 51病院 86チーム
- ・ その他



Musashino Red Cross Hospital

DMAT活動における 赤十字リソース活用のヒント

- ・ 日赤無線通信環境とDMAT通信インフラ
- ・ 医療資機材と病院支援
- ・ dERUとSCU
- ・ 赤十字奉仕団と通信、搬送、食糧確保等のロジ
- ・ 献血車・ルームと応急救護所
- ・ 救援物資とロジステーション
- ・ ボランティアとトリアージ補助
- ・ 心のケアとチームのメンタル管理



Musashino Red Cross Hospital



APECにおける 赤十字業務用無線の活用について



民営第1000第1号
平成22年10月20日

日本赤十字社 事業部長 殿



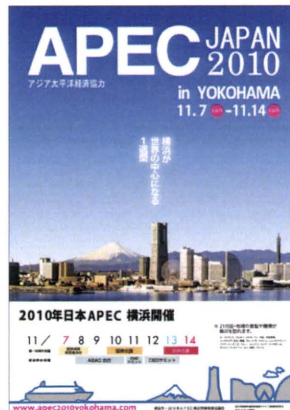
2010年日本APEC開催における医療支援に対する協力について

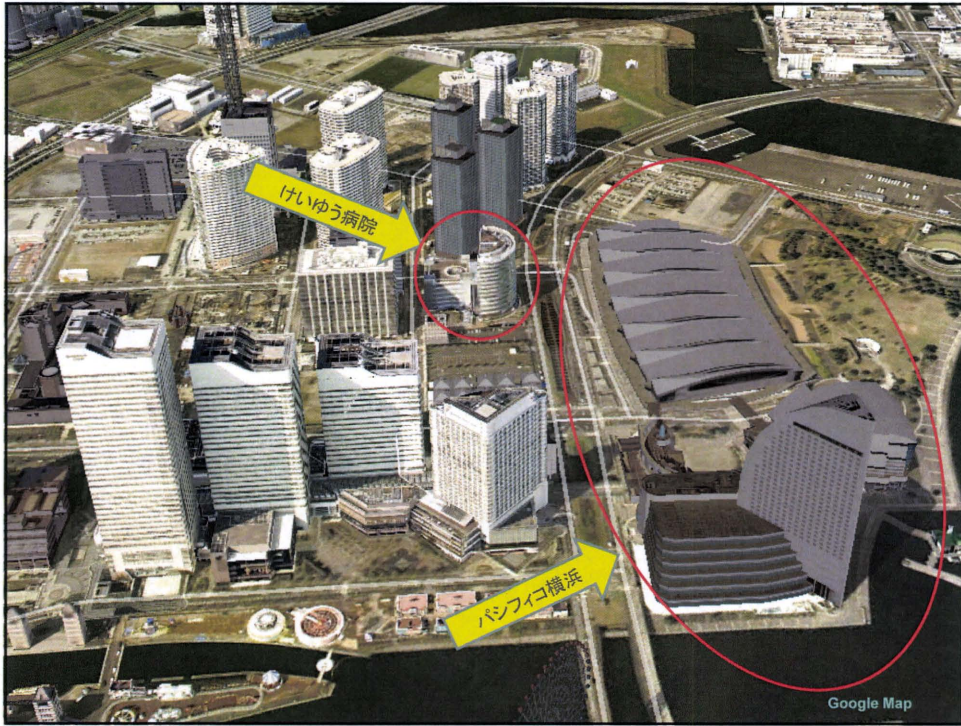
日頃より厚生労働省におきまして多大なご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。
さて、来る11月3日から14日の間に開催される2010年日本APEC 産業会議に際し、私は、政府においては各種の準備、調整等を行っているところであります。厚生労働省といたしましては、医療支援体制の確保に万全を期すべく、全国のDMATの協力によるデモ、出動支援対応を計っているところであります。
つきましては、貴省・庁の専念事項に当縮みするため、日本DMAT活動関係に基づき「通信、移動手段等の確保」について、日本赤十字社が協力し、日本赤十字社東京都支部及び日本赤十字社千葉支部の協力を賜りますようお願いいたします。

記

1. 期 間 平成22年11月2日(金)～15日(月)
2. 内 容 横浜会場、羽田空港及び東田空港におけるDMAT活動に伴う設備調整の依頼
【非常時における日赤無線等による連絡体制の協力】
詳細につきましては、DMAT事務局から各支部担当課にご連絡させていただきます。

送附先
厚生労働省健康政策課
災害医療対策室 課長 池田
TEL 03-596-2194
厚生労働省健康政策課事務局
国で内閣府健康政策センター
送附先・郵送先
03-526-5000





APEC2010 DMAT通信体制 配置案 ver.1.7				武蔵野赤十字病院				
エリアブロック	携帯電話	所在地	無線コールサイン等	空中線電力	機種	無線管理担当	日赤VHF 150MHz帯 アナログ 無線LHF 400MHz帯 デジタル/アナログ 35/65ch MCAUHF 800MHz帯 デジタル	
DMAT本部		けいゆう病院 13階	じっせきかながわ31	25W	固定	高梨 恵理		
			じっせきかながわ121	1W	ハンディー			
			じっせきかながわ122	1W	ハンディー			
			じっせきかながわ127	1W	ハンディー			
			じっせきかながわ128	1W	ハンディー			
			じっせきとうきょう101	1W	ハンディー			
			じっせきとうきょう102	1W	ハンディー			
			じっせきとうきょう103	1W	ハンディー			
			じっせきとうきょう18	10W	車載			
			じっせきくまがさ	25W	車載			
じっせきくまがさ	10W	車載						
MCA 聖徳寺	4W	ハンディー	大野					
脱乳無線	5W	固定	吉川					
メディアセンター		パシフィコ国際会議場	じっせきとうきょう6	25W	固定	太田		
			じっせきとうきょう105	1W	ハンディー			
			じっせきとうきょう106	1W	ハンディー			
			じっせきくまがさ116	10W	可搬			
			脱乳無線	5W	ハンディー			
会議センター			じっせきとうきょう7	25W	固定	関口		
			じっせきとうきょう146	5W	可搬			
			じっせきとうきょう107	1W	ハンディー			
横浜国立みなと赤十字病院		横浜市中区	じっせきかながわ34	10W	固定	八木		
			じっせきかながわ129	1W	ハンディー			
羽田空港		空港内救護所 エグゼルホテル東急 7136	じっせきとうきょう3	25W	固定	辻		
			じっせきとうきょう108	1W	ハンディー			
			じっせきとうきょう109	1W	ハンディー			
			じっせきとうきょう110	1W	ハンディー			
			じっせきかながわ201	1W	ハンディー			
			じっせきかながわ202	1W	ハンディー			
			じっせきかながわ4	10W	車載			
			脱乳無線	5W	ハンディー			
			MCA 聖徳寺	4W	ハンディー			
			成田空港		空港内救護所			じっせきとうきょう6
脱乳無線	5W	ハンディー						
MCA 聖徳寺	4W	ハンディー						
日赤神奈川興支部		横浜市中区	じっせきかながわ基地局	50W	基地	野口		
			MCA 横浜市	5W	ハンディー			
日赤東京都支部		新宿区大久保	じっせきとうきょう基地局	25W	基地	田中		
			豊島区駒込	じっせきこまごめ基地局	25W			基地
			大田区中津	じっせきおおつゆ基地局	25W			基地
日赤千葉県支部		千葉市中央区	じっせきかながわ基地局	50W	基地	堀田		
			脱乳無線	5W	ハンディー			
災害医療センター		立川市	MCA 聖徳寺	4W	ハンディー	DMAT事務局		

担当チーム		
シフトについては別途決定		
所属名	都道府県	業務調整員
東京医科歯科大学病院	東京	工藤 啓祐
聖徳赤十字病院	群馬	太田 隆徳
霞城県立中央病院	宮城	足火 晃
新潟市立病院	新潟	浅野 伊藤
津波津波病院	群馬	鈴木 幹木
平島総合病院	秋田	佐藤 憲木
徳島県立病院	徳島	吉岡 昌博
兵庫県立大学病院	兵庫	高田 勇

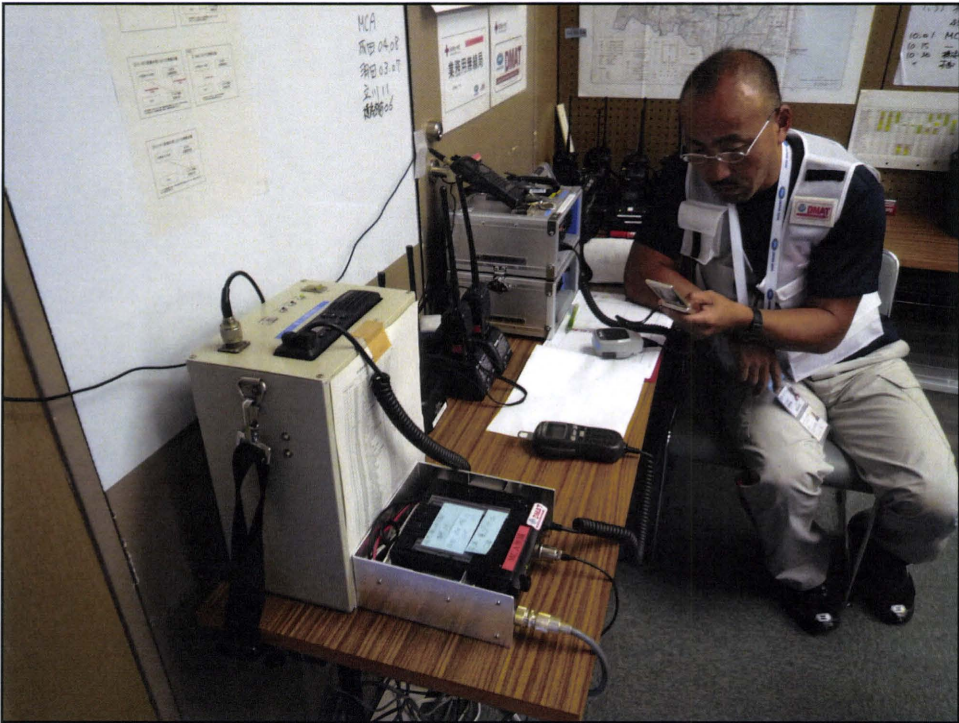
所属名	都道府県	業務調整員
山形県立中央病院	山形	藤井 隆洋
災害医療センター	東京	木崎 伸
近海病院	高知	伊石 竹崎
相模病院	長野	中込 内山
武蔵野赤十字病院	滋賀	西島 隆

所属名	都道府県	業務調整員
京都第一赤十字病院	京都	上野 伸太
東北大学病院	宮城	宮城 伸
愛知医科大学病院	愛知	小澤 小台
大阪府済生会千里病院	大阪	寺澤 幸博
済生会滋賀病院	滋賀	奥野 坂本

緊急時【休日夜間はオンコール】











通信状況

	日赤無線	簡易無線	MCA無線
○本部⇄メディアセンター	◎	◎	
○本部⇄会議センター	◎	◎	
○本部⇄4階チーム待機室	◎	◎	
○本部⇄神奈川県支部	◎		
○本部⇄東京都支部	○		
○本部⇄千葉県支部	◎		
○本部⇄武蔵野赤十字病院	◎		
○本部⇄大森赤十字病院	◎		
○本部⇄横浜みなと赤十字病院	△		
○本部⇄市内災害拠点病院（移動）	◎		
○本部⇄羽田空港	△		△
○本部⇄成田空港	-		◎
○本部⇄災害医療センター	-		◎

Musashino Red Cross Hospital

結 語

- 日本赤十字社は法的にも「救護団体」として位置づけられており、災害超急性期から復興期までの長いスパンでの活動基盤体制を整備している。
- 日本赤十字社は、災害救護に関するリソースを多数持ち合わせている。
- ODMATとの「協働」とは単なる接点ではなく相互乗り入れであり、人・物・情報を共有することで活動の円滑化を図る。
- 通信に関しては、機材を貸し出すというのではなく、環境の確保と初期情報体制の補完。
- 共に活動できる人材（ロジ）の育成と教育の継続が重要である

Musashino Red Cross Hospital



《災害救助法(抄)》 昭和三十二年法律第118号
第31条の2

日本赤十字社は、その使命にかんがみ、救助に協力しなければならない。

② 政府は、日本赤十字社に、政府の指揮監督の下に、救助に関し地方公共団体以外の団体又は個人がする協力(第25条の規定による協力を除く。)の連絡調整を行わせることができる。



Musashino Red Cross Hospital



どっとクロス!計画



日本赤十字社は災害医療活動のロジスティックそのものである。

Musashino Red Cross Hospital



ハイチ共和国 概要

人口:約900万人 面積:四国と九州の中間

首都:ポルトープランス

言語:フランス語、クレオール語

西半球の最貧国:一人当たりGNP 560 USD

首都に西半球最大のスラム街

軍隊は解体

治安状況悪化:国連ハイチ安定化ミッション

MINUSTAH:各国から軍隊

JDR HAITI MISSION 2010.01.16-01.29

Yamahata, Yoshihiro M.D.

ハイチ大地震 概要

2010.01.12

現地時間 16:53 発災(日本時間 13日 06:53)

震源地:首都から南西 25km 深さ10km

地震の強さ:マグニチュード7.0

死者 :23万人以上 被災者:300万人以上

* 阪神淡路大震災

震源地:神戸市直下 深さ16km

地震の強さ:マグニチュード6.9

JDR HAITI MISSION 2010.01.16-01.29

Yamahata, Yoshihiro M.D.